

桃谷駅改良

1. 計画概要

駅構内店舗エリア、高架下商業施設エリアを含め、駅および駅周辺の魅力向上につながる美装改良、商業開発を行います。

① 新改札口設置	駅北側エリアのアクセスの向上および新設する高架下商業施設エリアと駅部の一体化を図るため、北側（現在の駅の中2階改札内コンコース付近から北側道路）に改札口を新設します。
② 高架下エリア 新商業施設開発	駅北側高架下に商業施設（約1,000㎡）を新設します。 高架下商業施設前（駅西側）には各店舗へのアプローチとなる外部通路を設け、新設の北側改札口からのつながりを演出するとともに、駅および駅周辺イメージの刷新を図ります。
③ 駅構内店舗エリア リニューアル	駅構内店舗エリア（約550㎡）の全店舗リニューアルと改札外コンコースの全面美装化により、さらなる利便性・快適性の向上を図ります。
④ 駅舎全体美装改良	ホーム、改札内外コンコース、トイレ、案内サイン、外壁など、駅舎全体を美装改良します。

※テナント等の詳細は決まり次第お知らせします。



2. 改良コンセプト

駅周辺の丘陵地帯が桃の名所であったことに由来する桃谷駅においては、故事成語の「桃李成蹊」になぞらえ、駅南口（天王寺方）から駅構内店舗エリア、改札口、新設する北口（鶴橋方）を抜けて高架下エリアに至る駅の南北動線を「一本の小道」と見立て、美しく快適で利便性の高い「道」をつくることを目指した改良を行います。

駅や商業施設には、桃のモチーフとしたデザインを要所に施します。北側高架下エリアの植栽スペースには、3種類の桃の木（テルテモモ、ベニスモモ、フェイジョア）を植えるなど、「桃」にこだわった空間を作ります。

3. 開業時期 平成28年夏頃